

出張授業取材のご案内

報道関係各位

2024年10月21日
株式会社橋本ホールディングス

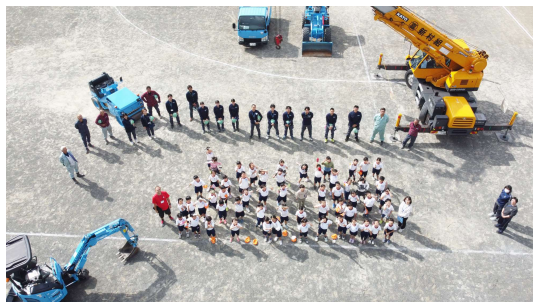
11月6、14日、小学生向け出張授業を今年も開催！

～未来の建設業就業者を増やすため、
「はたらくくるま」体験で建設業の魅力を伝える～

株式会社橋本組(所在地:静岡県焼津市本町2-2-1、代表取締役社長:橋本真典)は、2024年11月6日に榛原郡吉田町立中央小学校、同月14日には焼津市立大井川東小学校にて、1年生を対象とした出張授業を今年も開催いたします。焼津市や周辺地域の小学校で継続的に行われている本授業では、現場で使用される重機を紹介し、子どもたちが建設業を身近に感じられる貴重な体験を提供しています。子どもたちに「はたらくくるま」として建設現場で活躍する重機を実際に見てもらい、その機能や役割について学んでもらいます。

※各授業のスケジュールは「別紙1」にて

昨年の授業の様子



将来を担う世代へ向けた取り組み ～未来の技術者育成を目指して～

建設業界では、現場技術者の不足が深刻な課題となっています。社会インフラの整備や建物の建築、さらに事故や災害など緊急時の対応において、技術者の役割はますます重要になってきています。株式会社橋本組は、こうした現状を踏まえ、次世代を担う子どもたちに建設業の重要性や魅力を知って興味を持ってもらうことを目的とし、このような授業を毎年開催しています。また、当社では学生や児童を対象とした体験学習の受け入れも積極的に行っております。建設現場やオフィス見学、実際の作業体験などを通じて、将来の職業選択の一助となる学びの機会を提供しています。

〈本リリースに関するお問い合わせ先〉

株式会社 橋本組

TEL: 054-627-3276(広報 村越)

mail: kinuyo@hashimotogumi.co.jp

吉田町立中央小学校

実 施 日	2024年11月6日(水) 9:30～11:10 (雨天予備日 11月8日(金))
参 加 者	小学校：1年生児童67名 + 支援5名 計72名 先生3名 橋本組：14名程度
日 程	9:30～9:35 授業内容の説明 9:35～10:45 体験授業 10:45～11:10 ドローン撮影 11:30 終了
体 験 内 容	◆乗車体験・見学(バックホウ・16tラフター・2tダンプ・スカイマスター・生コン車・散水車) ◆座学 (はたらく車のクイズ) ◆写真撮影 (ドローン)

焼津市立大井川東小学校

実 施 日	2024年11月14日(木) 8:50～10:35 (雨天予備日 11月18日(月)※場所変更可能性あり)
参 加 者	小学校：1年生児童45名 先生4名(教頭・担任) 橋本組：16名程度
日 程	8:50～8:55 授業内容の説明 9:00～10:10 体験授業 10:15～10:30 ドローン撮影 10:35 終了
体 験 内 容	◆乗車体験・見学(バックホウ・ブルドーザー・フォークリフト・高所作業車・13tラフター・生コン車) ◆座学 (はたらく車のクイズ) ◆写真撮影 (ドローン)

静岡県の建設業就業者数推移(2007年～2019年)

建設業の就業者数は2008年、一気に80,000人を超えるピークを迎えました。その後、2010年に再び60,000人付近まで減少し、2016年ごろにもう一度上昇していますが、2020年にはやや落ち着き、約60,000人を維持している状況です。特に2014年と2015年の増加傾向が目立ちますが、その後、再び減少に転じました。

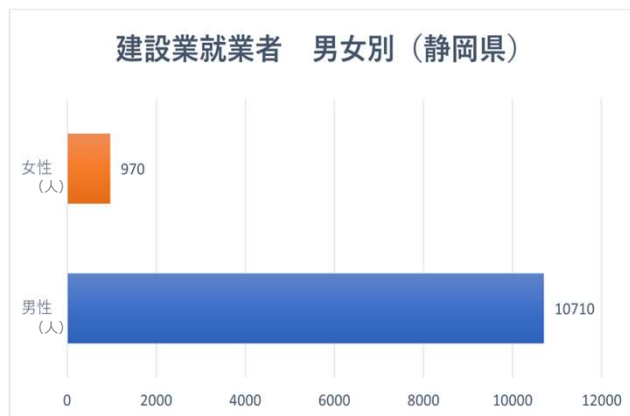
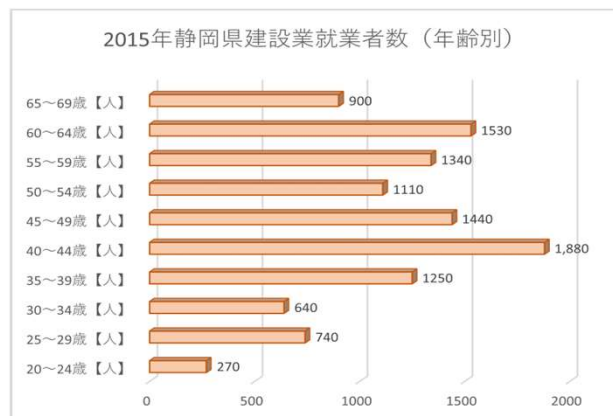


出典: 政府統計の総合窓口(e-Stat) (<https://www.e-stat.go.jp/>)
 国勢調査結果を基に株式会社橋本組作成

年齢・男女別の就業者数(2015年)

2015年のデータでは、就業者の多くが中高年層に集中していることがわかります。45歳～49歳の層が最も多く、約1,880人。その次に多いのが、40歳～54歳の層で、約1,440人前後です。65歳以上から年齢が高くなるにつれて減少していますが、高齢者の割合が少なくないことが示されています。一方、20歳～24歳の若年層はわずか270人と、少ないことが際立ちます。

男女別の就業者数(2015年)は、男性が圧倒的多数を占めており、10,710人に対して、女性はわずか970人。静岡県における建設業は男性中心であり、今後建設技術者を増やすため女性の建設業への就業推進が対策の一つと考えられます。



出典: 政府統計の総合窓口(e-Stat) (<https://www.e-stat.go.jp/>)
 国勢調査結果を基に株式会社橋本組作成

これらのデータから、静岡県の建設業は、年齢層が高めで、中高年層に依存していること、また若年層の参入が少なく、男女比でも男性が圧倒的多数を占めていることが読み取れます。